【講座名】　現代の国語

【講座内容･目標】　言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（2）生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
（3）言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【科目情報】　国語　２単位
【教科書】　『現代の国語』（大修館書店）
【副教材】　国語便覧・漢字テキスト
【その他】　以下の評価基準に基づき、その習得状況を定期考査並びに小テスト及び課題等で判断するものとする。

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価基準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	「ことばと思考」（今井むつみ）	A「話すこと・聞くこと」	○比喩，例示，言い換えなどの修辞や，直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。（(1)カ）	○「話すこと･聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の中から適切な話題を決め，様々な観点から情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。（A(1)ア） ○「話すこと･聞くこと」において，話し言葉の特徴を踏まえて話したり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の理解が得られるように表現を工夫している。（A(1)ウ）	○言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，学習の見通しをもって思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉を効果的に使おうとしている。
	期末	水の東西（山崎正和）		○話し言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し，使っている。（(1)イ）	○「話すこと･聞くこと」において，話し言葉の特徴を踏まえて話したり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の理解が得られるように表現を工夫している。（A(1)ウ）	○話し言葉の特徴を理解し，相手の理解が得られるよう，表現を粘り強く工夫する中で，自らの学習を調整しようとしている。
2学期	中間	他者を理解するということ（鷲田誠一）	B「書くこと」	○情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。（(2)エ）	○「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の中から適切な題材を決め，集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して，伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	○情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め，伝えたいことを明確にし，自分の考えや事柄が的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で，自らの学習を調整しようとしている。
	期末	「美しさの発見」について（高階秀爾）		○文，話，文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。（(1)オ） ○主張と論拠など情報と情報との関係について理解し使っている。（(2)ア）	○「書くこと」において，読み手の理解が得られるよう，論理の展開，情報の分量や重要度などを考えて，文章の構成や展開を工夫している。（B(1)イ）	○読み手の理解が得られるように説得の材料を選択し，構成や展開を工夫しようとしている。
3学期	期末	贅沢を取り戻す（國分功一郎）	C「読むこと」	○主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	○「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。（C(1)ア）	○論理的な文章の要約を通して，主張と論拠との関係について理解し，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で，自らの学習を調整しようとしている。
				○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)エ） ○実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。（(3)ア）	○「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。（C(1)イ）	○言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

【講座名】　言語文化

【講座内容･目標】　言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（2）生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
（3）言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【科目情報】　国語　２単位
【教科書】　『言語文化』（大修館書店）
【副教材】　国語便覧・漢字テキスト・古典文法書・古文単語帳・漢文句法書
【その他】　以下の評価基準に基づき、その習得状況を定期考査並びに小テスト及び課題等で判断するものとする。

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価基準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	蛇足（戦国策） 宇治拾遺物語 児のそら寝	A「書くこと」	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ）	○「書くこと」において，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。（A(1) イ）	○学習の見通しをもって，散文（随筆・物語等）を書くことを通して，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，粘り強く表現の仕方等を工夫しようとしている。
	期末	羅生門（芥川龍之介） 徒然草 神無月のころ 論語 孟子		○言語文化に関わる情景や心情を理解するために必要な語句の量を増し，文章の中で活用することを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） ○本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。（(1)オ）	○「書くこと」において，自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしている。（A(1)ア） ○「書くこと」において，自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。（A(1) イ）	○伝えたい内容に則して素材を集め，その素材を活用して，内容が読み手に効果的に伝わるよう工夫しようとしている。
2学期	中間	伊勢物語 芥川 あづま下り 完璧（十八史略）	B「読むこと」	○古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。（(2)ウ）	○「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。（B(1)オ）	○学習の見通しをもって，作品に描かれた人間関係について話し合うことを通して，進んで，自分のものの見方,感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。
	期末	城の崎にて（志賀直哉） 土佐日記 門出 更級日記 あこがれ				
3学期	期末	おくのほそ道 平泉 漢詩 自然･友情･人生		○言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。（(1)ア）	○「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。（B(1)エ） ○「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。（B(1)オ）	○作品とその原作との読み比べを通して，積極的に，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で，自らの学習を調整しようとしている。

【講座名】　歴史総合

【講座内容・目標】近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、アジア諸国および日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして、諸課題について多面的・多角的に考察、表現し、主体的に解決しようとする態度を養う。

【科目情報】　地理歴史（歴史総合）　２単位

【教科書】　現代の歴史総合　みる・読みとく・考える（山川出版社）

【副教材】　現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　改訂版　ノート（山川出版社）

【その他】

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	歴史と私たち	歴史の扉	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。	近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化に関係して、取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。	諸資料を活用し、身近な諸事象を日本や世界の歴史と関連付ける活動に主体的に取り組んでいる。
		歴史の特質と資料		資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。	日本や世界の様々な資料より読み取ることができる情報などを基に、課題を追究し、解決しようとしている。
		近代化への問い	近代化と私たち	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。	近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	近代化の中で生じる生活や社会の変容に関する諸資料を基に、課題を追究し、解決しようとしている。
		第1章 結びつく世界と日本の開国		18世紀のアジアや日本における生産と流通、貿易などを基に、アジアの経済と社会を理解している。 産業革命や中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。	18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響や産業革命の影響、中国の開港と日本の開国などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国と各地域間の関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	18世紀のアジア諸国の動向と欧米諸国との関係について諸資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
	期末	第2章 国民国家と明治維新		18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 列強の進出や日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	国民国家の形成や帝国主義の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革や国民国家の特徴および列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	国家形成の過程や帝国主義政策による各地域への影響について諸資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
		近代化と現代的な諸課題		現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現している。	これまでの学習などを基に、近代化の歴史をアジア諸国とその他の国や地域の動向に関する諸資料を活用して、追究し、解決しようとしている。
2学期	中間	国際秩序の変化や大衆化への問い	国際秩序の変化や大衆化と私たち	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	国際関係の緊密化や大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化などに関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
		第3章 総力戦と社会運動		第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長などを基に、総力戦と第一世界大戦後の国際協調体制を理解している。 大衆の政治参加と女性の地位向上などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。	第一世界大戦の推移と第一世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一世界大戦の性格と惨禍、および社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。	第一世界大戦の経過とその後の影響に関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
		第4章 経済危機と第二次世界大戦		世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開とその後の影響、戦後改革と日本国憲法の制定などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	経済危機の背景と影響、第二次世界大戦の推移とその影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、第二次世界大戦の性格と惨禍などを多面的・多角的に考察し、表現している。	経済危機の背景と影響、第二次世界大戦の展開と影響などに関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
		国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。	これまでの学習を基に、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を日本とその他の国や地域の動向に関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
	期末	グローバル化への問い	グローバル化と私たち	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。	グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	グローバル化に伴う生活や社会の変容に関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
		第5章 冷戦と世界経済		脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、先進国の政治の動向などを基に、国際政治の変容を理解している。 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治や経済に及ぼした影響および日本の高度経済成長の背景や影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	冷戦と世界経済に関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
3学期	期末	第6章 世界秩序の変容と日本		石油危機、アジアの諸地域の経済発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 冷戦の終結、民主化の進展などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。	アジアの諸地域の経済発展の背景、冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と冷戦終結後の国際政治の特徴および日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。	アジアの諸地域の経済発展や冷戦終結後の国際政治などに関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。
		現代的な諸課題の形成と展望		歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	これまでの学習を基に、現代的な諸課題を日本やその他の国や地域動向に関する資料を活用して、課題を追究し、解決しようとしている。

【講座名】　数学Ⅰ・A

【講座内容･目標】　数と式、集合と論証、２次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動、方程式・式と証明
　中学校で学んだことをさらに拡張し、体系的な知識として整理する。事象の数量化・計算、論理の組み立て方・考え方、平面図形の性質、三角比を用いた図形の計測、高度な計算の解法などを学習する。

【科目情報】　数学Ⅰ　４単位　＋　数学A　２単位
【教科書】　数学Ⅰ　Advanced（東京書籍）、数学A　Advanced（東京書籍）、（数学Ⅱ　Advanced（東京書籍））

【副教材】　新課程チャート式　解法と演習　数学Ⅰ＋A（数研出版）、PRIME 数学Ⅰ＋A（東京書籍）
（新課程チャート式　解法と演習　数学Ⅱ＋B（数研出版）、PRIME 数学Ⅱ＋B（東京書籍））

【その他】　数学Ⅰ（４単位）と数学A（２単位）を同時に履修すること

		教材（小単位）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	〈数学Ⅰ〉 1節　式の計算 2節　実数 3節　1次不等式	1章　数と式	・整式を体系的に理解している。式の展開、因数分解ができる。 ・数を体系的に理解している。絶対値、根号を含む計算、分母の有理化ができる。 ・不等式の性質に注意して計算できる。１次不等式、連立１次不等式が解ける。	・式の展開や因数分解の計算で、乗法公式や計算の工夫を自ら考えて適用できる。 ・絶対値や分母の有理化を計算の道具として自ら用いている。 ・文章問題から１次不等式を立式して問題を解くことができる。	・公式や定理、性質を自ら計算し確認することで、理解を深めている。 ・検算の習慣を身に付け、問題を解きながら違和感や間違いを自ら解消している。 ・予習、復習を自ら行い、応用問題の演習を積極的に進めている。
		〈数学Ⅰ〉 1節　集合 2節　命題と論証	2章　集合と論証	・集合を式で表せる。部分集合、共通部分と和集合等の概念を理解し、ベン図で表せる。 ・命題の真偽を考察できる。必要条件と十分条件、対偶等を用いて論述できる。	・自らベン図等を用いて問題を整理しながら解くことができる。 ・必要条件、十分条件等を用いながら命題を整理して、正しく考察できる。	・集合を用いて考察することのよさを認識し、問題解決に活用している。 ・証明の意義を理解し、定理を自ら証明することで深い理解を図り、自らの知識として定着させている。 ・証明の意義を理解し、定理を自ら証明することで深い理解を図り、自らの知識として定着させている。
	期末	〈数学Ⅰ〉 1節　関数とグラフ 2節　2次方程式･2次不等式	3章　2次関数	・関数の概念がわかり、２次関数の式とグラフの関係を理解している。平方完成やグラフの作図ができ、最大値・最小値を求められる。 ・２次方程式と２次関数の関係を理解し、実数解の個数や２次不等式の解が求められる。	・問題に合わせて２次関数の式とグラフを使い分け、解答の道具として活用できる。 ・２次不等式を解く際に、２次関数のグラフの概形を考慮して解答できる。	・関数のよさを認識し、問題解決に活用したり、数学的論拠に基づき判断したりしている。 ・方程式を考察する道具として関数を活用するよさを理解し、数学的論拠に基づき考察しようとしている。
		〈数学A〉 1節　場合の数 2節　確率とその基本性質 3節　いろいろな確率	1章 場合の数と確率	・場合の数の概念を理解している。順列、組み合わせが計算でき、文章問題の中で活用できる。 ・確率の用語を理解している。単純な確率を計算でき、余事象等を考察できる。 ・独立な試行、反復試行、条件付き確率を求めることができ、期待値を計算できる。	・問題に応じて順列、組み合わせの式を使い分け、場合の数を求めることができる。 ・確率の和や積、余事象等の使い分けが正しくできる。 ・問題に応じて公式や定理を正しく使い分け、解答することができる。	・発展的な順列、組合せの考え方を理解し、事象を想像しながら問題解決に向かおうとしている。 ・確率の意味を理解し、基本的な確率を求めようとしている。 ・確率の基本性質を理解し、様々な条件の確率において数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。
2学期	中間	〈数学Ⅰ〉 1節　鋭角の三角比 2節　三角比の拡張 3節　三角形への応用	4章　図形と計量	・三角比の概念を理解する。直角三角形の正弦、余弦、正接が求められ、相互関係の公式が使える。 ・三角比の表が書け、正弦、余弦、正接の取り得る値の範囲がわかる。 ・正弦定理、余弦定理、三角形の面積公式が使える。	・三角形の測量をする際、自ら三角比を利用して図形の構成要素間の関係を表現し、考察することができる。 ・三角形の測量をする際、自ら定理や公式を利用して計算できる。	・三角比やそれに関わる定理や公式を導き、問題解決にそれらを活用しようとしている。 ・三角比のよさを理解しており、図形の計量において、自ら活用している。
		〈数学Ⅰ〉 1節　データの散らばりの大きさ 2節　データの相関 3節　データの分析の応用 4節　仮説検定の考え方	５章 データの分析	・データ分析の用語を理解する。平均、分散、標準偏差が求められる。 ・相関係数の計算ができ、散布図の相関を読み取ることができる。 ・データ分析の手順を理解し、ヒストグラム等の図に起こすことができる。 ・仮説検定の方法を理解し、統計の妥当性を判断できる。	・公式の意味を理解し、その値からデータの傾向等を考察できる。 ・相関の有無を判断するために、自ら散布図を書き、分析できる。 ・データを分析する際に、自ら適当な図を作成し、活用できる。 ・統計データの妥当性を図るために、自ら仮説検定を利用できる。	・データの分析の公式等を数学的論拠に基づき理解しようとしたりしている。 ・データの分析のよさを理解し、問題解決に役立てようとしている。 ・データを使って判断したり、物事の判断のためにデータに起こそうとしたりしている。
		〈数学A〉 1節　三角形の性質 2節　円の性質 3節　空間図形	2章　図形の性質	・内分、外分、三角形の重心等の性質を理解する。また、それらの性質から三角形の辺の長さや角度を求めることができる。 ・円と図形の関係を理解し、円周角の定理や方べきの定理が使える。 ・空間図形の用語を覚え、ねじれの位置等、その状況を理解している。	・問題に応じて必要な定理を判断し、図形に当てはめて考えることができる。 ・円と図形の性質を図形に当てはめて、辺の長さや角度を求めることができる。 ・問題文から空間図形を正しく作図し、解答の考察に利用することができる。	・図形の性質を証明することで深く理解し、適切に活用しようとしている。 ・自ら証明を行い、理解を深めている。 ・作図をするよさを理解し、可視化しながら問題解決に向かっている。
		〈数学A〉 2節　考える楽しみ	3章 数学と人間の活動	・整数問題の解法を理解し、正しく解くことができる。	・整数の性質を理解し、問題に応じて適切に条件を当てはめて解くことができる。	・整数問題の扱いについて数学的論拠に基づき、判断しようとしたりしている。
	期末	〈数学Ⅱ〉 1節　整式の乗法・除法と分数式 2節　2次方程式 3節　高次方程式 4節　式と証明	1章 方程式・式と証明	・３次式の展開、因数分解ができる。二項定理が使え、整式の除法、分数式の計算ができる。 ・複素数の概念を理解し、２次方程式の複素数解が求められる。解と係数の関係を活用できる。 ・因数定理を用いて、高次方程式が因数分解できる。 ・恒等式、不等式の証明ができる。 ・相加平均と相乗平均の関係を用いて問題を解くことができる。	・整式を整理するときに、乗法公式や整式の除法、分数式を自ら活用できる。 ・問題に応じて自ら数を複素数まで拡張し、考察することができる。 ・剰余の定理の仕組みを考えながら、応用問題を解くことができる。 ・証明の演習を通して、あらゆる可能性を考えて場合分けを行うことができる。	・公式や定理を自ら証明し、理解を深めようとしている。 ・複素数のよさを理解し、問題解決に活用しようとしている。 ・因数定理を用いて、高次方程式の分析をしようとしている。 ・証明問題を繰り返し演習し意味を考えることで、数学的な考察を理解しようとしている。
3学期	期末	〈数学Ⅱ〉 1節　点と直線 2節　円 3節　軌跡と領域	2章　図形と方程式	・公式を利用して直線の方程式を立てることができる。 ・公式を利用して、円の方程式を立てることができる。 ・等式や不等式から、基本的な軌跡や領域を答えることができる。	・直線の方程式とグラフの関係を理解しようとしている。 ・円の方程式とグラフの関係を理解しようとしている。 ・軌跡や領域を図示して、その関係を理解しようとしている。	・問題を解くときに、図示して考えようとしている。 ・軌跡や領域の計算で、式をまとめる計算を繰り返し練習しようとしている。

【講座名】　　化学基礎

【講座内容･目標】

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

【科目情報】　　理科（化学基礎）　２単位
【教科書】　　化学基礎（東京書籍）
【副教材】　　標準セミナー化学基礎（第一学習社）
【その他】

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	物質の成分と構成元素 原子の構造と元素の周期表	物質の構成	化学の特徴，物質の分離・精製，単体と化合物，熱運動と物質の三態を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。 物質の構成成分について，原子の構造，電子配置と周期表を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。	主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	期末	化学結合		化学結合について，イオンとイオン結合，分子と共有結合，金属と金属結合を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	化学結合について，観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。	化学結合に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
2学期	中間	物質量と化学反応式	物質の変化	物質量と化学反応式について，物質量，化学反応式を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	物質量と化学反応式について，観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。	物質量と化学反応式に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
	期末	酸と塩基		酸と塩基と中和，を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	酸と塩基について、観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。	酸と塩基に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
3学期	期末	酸化還元反応		酸化還元反応を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	酸化還元反応について、観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現している。	酸化還元反応に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

【講座名】　　生物基礎

【講座内容･目標】　日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【科目情報】　　理科（生物基礎）　２単位
【教科書】　　生物基礎（数研出版）
【副教材】　　フォトサイエンス（数研出版）、リードα生物基礎（数研出版）
【その他】　　別途、副教材を購入することがある。

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	第1章　生物の特徴	生物の特徴	生物の特徴について，生物の共通性と多様性，生物とエネルギーを理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	生物の特徴について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	生物の特徴に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究し，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。
	期末					
2学期	中間	第2章　遺伝子とそのはたらき		遺伝子とその働きについて，遺伝情報とDNA，遺伝情報とタンパク質の合成を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	遺伝子とその働きについて，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	遺伝子とその働きに主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究し，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。
	期末	第3章　ヒトの体内環境の維持	ヒトのからだの調節	神経系と内分泌系による調節について，情報の伝達，体内環境の維持の仕組みを理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。 免疫について，免疫の働きを理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	神経系と内分泌系による調節について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 免疫について，観察，実験などを通して探究し，多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。	神経系と内分泌系による調節に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究し，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。 免疫に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究し，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。
3学期	期末	第4章　生物の多様性と生態系	生物の多様性と生態系	植生と遷移について，植生と遷移を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。 生態系とその保全について，生態系と生物の多様性，生態系のバランスと保全を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	植生と遷移について，観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現すること。 生態系とその保全について，観察，実験などを通して探究し，科学的に考察し，表現すること。	植生と遷移に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究し，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。 生態系とその保全に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究し，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。

【講座名】　体育
【講座内容･目標】体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身につける。
【科目情報】　保健体育（体育）　３単位
【教科書】　現代高等保健体育（大修館）
【副教材】　なし
【その他】　体育授業の心得を遵守し、準備をする。
各担当の指示する準備を行う。
活動場所や準備については、当日の体育用ホワイトボードを確認する。
年間の活動内容や選択の内容については、変更になることがある。
水泳では、水着。ゴーグル・水泳帽（学校指定）が必要になる。
４月　新体力テスト　　６月　体育祭
２月　大競走大会　　３月　球技大会
※新型コロナの影響で変更有

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準				
			内容のまとまり	知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全学期	全員	体ほぐしの運動	体つくり運動	・定期的・計画的に運動を継続することは，心身の健康，健康や体力の保持増進につながる意義があることについて，言ったり書き出したりしている。	・リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して，気付いたり関わり合ったりすることができる。 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して，気付いたり関わり合ったりすることができる。	・ねらいや体力の程度を踏まえ，自己や仲間の課題に応じた強度，時間，回数，頻度を設定している。 ・健康や安全を確保するために，体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。 ・体つくり運動の学習成果を踏まえて，実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。	・体つくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。
		実生活に生かす運動の計画		・実生活で運動を継続するには，行いやすいこと，無理のない計画であることなどが大切であることについて，言ったり書き出したりしている。	・運動不足の解消や体調維持のために，食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め，休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むことができる。		
２学期	選択または全員	マット	器械運動	・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり，同じ系統の技には共通性があることについて，言ったり書き出したりしている。 ・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。	＜回転系＞ ○接転技群 ・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方，回転力を高めるための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ることができる。 ・開始姿勢や終末姿勢，組合せの動きや支持の仕方などの条件を変えて回ることができる。 ○ほん転技群 ・全身を支えたり，突き放したりするための着手の仕方，回転力を高めるための動き方，起き上がりやすくするための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転することができる。 ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで回転することができる。	・選択した技の行い方や技の組合せ方について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。	・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして，互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。
１・３学期	全員	長距離走	陸上競技	・陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり，それぞれの技術には，記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて，言ったり書きだしたりしている。 ・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。	・リズミカルに腕を振り，力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・呼吸を楽にしたり，走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。	・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。	・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。
１学期または２学期	選択	ハードル走			・スタートダッシュから１台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。 ・遠くから踏み切り，振り上げ脚をまっすぐに振り上げ，ハードルを低く走り越すことができる。 ・インターバルでは，３又は５歩のリズムを最後のハードルまで維持して走ることができる。		
		走り幅跳び			・踏み切り前３～４歩からリズムアップして踏み切りに移ることができる。 ・踏み切りでは，上体を起こして，地面を踏みつけるようにキックし，振り上げ脚を素早く引き上げることができる。 ・かがみ跳びやそり跳びなどの空間動作からの流れの中で，脚を前に投げ出す着地動作をとることができる。		
		走り高跳び			・リズミカルな助走から真上に伸び上がるように踏み切り，はさみ跳びや背面跳びなどの空間動作で跳ぶことができる。 ・背面跳びでは，踏み切り前の３～５歩で弧を描くように走り，体を内側に倒す姿勢を取るようにして踏み切りに移ることができる。		

夏季	全員	クロール	水泳	・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり，それぞれの技術には，効率的に泳ぐためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。 ・泳法と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。	・水面上の腕は，ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。 ・泳ぎの速さに応じて，顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作を行うことができる。	・選択した泳法について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・パディやグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。	・水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。
		平泳ぎ		・肩より前で，両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。 ・プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い，キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり，１回の腕の動き（ストローク）で大きく進むことができる。		
２学期	選択（２つの型）	ゴール型 ・サッカー、バスケットボール、ハンドボール	球技	・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術，作戦には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。 ・練習やゲーム中の技能を観察したり分析したりするには，自己観察や他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。	○安定したボール操作 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。 ○空間を作りだすなどの動き ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。	・選択した運動について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で，よりよいマナーや行為について，自己の活動を振り返っている。 ・球技の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。
		ネット型 ・バレーボール、テニス、卓球、バドミントン		○役割に応じたボール操作や安定した用具の操作 ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 ・ポジションの役割に応じて，拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 ○連携した動き ・ラリーの中で，味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。			
		ベースボール型 ・ソフトボール		○安定したバット操作 ・身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができる。 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ○走塁 ・スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ることができる。 ○ボール操作 ・捕球場所へ最短距離で移動して，相手の打ったボールを捕ることができる。 ・仲間の送球に対して塁上でタイミングよくボールを受けたり，中継したりすることができる。 ○連携した守備 ・味方からの送球を受けるために，走者の進む先の塁に動くことができる。		
	選択または全員	創作ダンス	ダンス	・ダンスには，身体運動や作品創作に用いられる名称や用語があることについて，言ったり書き出したりしている。 ・それぞれの踊りには，その踊りの特徴と表現の仕方があることについて，言ったり書き出したりしている。 ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには，自己観察や他者観察などの方法があることについて，学習した具体例を挙げている。	○対極の動きの連続（ねじる―回る―見る　など） ・「ねじる―回る―見る」では，ゆっくりギリギリまでねじって力をためておき，素早く振りほどくように回って止まり，視線を決めるなどの変化や連続 のあるひと流れの動きで表現することができる。 ○多様な感じ（静かな，落ち着いた，重々しい，力強い　など） ・「力強い感じ」では，力強く全身で表現するところを盛り上げて，その前後は弱い表現にして対照を明確にするような簡単な構成で表現することができる。	・それぞれのダンスに応じて，表したいテーマにふさわしいイメージや，踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。 ・作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で，合意形成するための関わり方を見付け，仲間に伝えている。 ・ダンスの学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。	・ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして，互いに助け合い教え合おうとしている。 ・作品創作などについての話合いに貢献しようとしている。
		現代的なリズムのダンス		・簡単なリズムの取り方や動きで，音楽のリズムに同調したり，体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊ることができる。 ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて，動きに変化を付けて踊ることができる。			

【講座名】　保健
【講座内容･目標】　保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育成する。
【科目情報】　保健体育（保健）　１単位
【教科書】　現代高等保健体育（大修館書店）
【副教材】　現代高等保健体育ノート（大修館書店）
【その他】　教科書・副教材以外の準備物は、各担当に確認すること。

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	期末	健康の考え方と成り立ち	現代社会と健康（ア）健康の考え方	・我が国の死亡率，受療率，平均寿命，健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準，及び疾病構造の変化には，科学技術の発達，及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		私たちの健康のすがた		・健康水準の向上，疾病構造の変化に伴い，個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・免疫，遺伝，生活行動などの主体要因と，自然，経済，文化，保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
		健康に関する意思決定・行動選択		・健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づき，適切な意思決定や行動選択により，疾病等のリスクを軽減することを含め，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には，個人の知識，価値観，心理状態，及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には，自然環境，及び政策や制度，地域活動などの様々な社会環境があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		健康に関する環境づくり				
		生活習慣病の予防と回復	現代社会と健康（ウ）生活習慣病などの予防と回復	・がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		がんの原因と予防				
		がんの治療と回復				
2学期	期末	運動と健康				
		食事と健康				
		休養・睡眠と健康				
		喫煙と健康	現代社会と健康（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	・喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン，MDMA などの麻薬，覚醒剤，大麻，など，薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価している。 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	喫煙，飲酒，薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		飲酒と健康				
		薬物乱用と健康				

2学期	期末	精神疾患の特徴	現代社会と健康（オ）精神疾患の予防と回復	・精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病，統合失調症，不安症，摂食障害などは，誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には，身体の健康と同じく，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた生活を実践すること，早期に心身の不調に気付くこと，心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調時には，不安，抑うつ，焦燥，不眠などの精神活動の変化が，通常時より強く，持続的に生じること，心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに，専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること，偏見や差別の対象ではないことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について，習得した知識を基に，心身の健康を保ち，不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	精神疾患の予防とその回復について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		精神疾患の予防				
		精神疾患からの回復				
		現代の感染症	現代社会と健康（イ）現代の感染症とその予防	・感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解したことを言ったり書いたりしている。	・現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて，事例を通して整理し，感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・現代の感染症とその予防について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	現代の感染症とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		感染症の予防				
		性感染症・エイズとその予防				
3学期	学期末	事故の現状と発生要因	安全な社会生活（ア）安全な社会づくり	・事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・安全な社会づくりについて，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・安全な社会づくりについて，様々な事故や災害の事例から，安全に関する情報を整理し，環境の整備に応用している。 ・交通安全について，習得した知識を基に，事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		安全な社会の形成		・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組，及び地域の連携などが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
		交通における安全		・交通事故を防止するには，自他の生命を尊重するとともに，自分自身の心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること，及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
		応急手当の意義とその基本	安全な社会生活（イ）応急手当	・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。	応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
		日常的な応急手当		・日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。		
		心肺蘇生法		・心肺停止状態においては，急速に回復の可能性が失われつつあり，速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，実習を通して理解したことを言ったり書いたりし，AED などを用いて心肺蘇生法ができる。		

【講座名】　音楽Ⅰ

【講座内容･目標】歌唱・器楽・鑑賞の領域をバランスよく取り扱う。音楽理論は学び直しからリズム、音階の仕組みをマスターするまで発展させる。
音楽活動を通して感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸長する。

【科目情報】　芸術（音楽Ⅰ）　２単位
【教科書】　音楽Ⅰ Tutti ＋（教育出版）
【副教材】　プリント　諸民族の音楽地図
【その他】　実技試験、提出物、授業態度、出欠状況等を総合的に評価する。

	教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
		内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	歌唱(合唱) 鑑賞(「諸民族の音楽」①様々な声～アジア) ソルフェージュ･理論(リズム)	「A表現」(1)歌唱及び〔共通事項〕(1) 「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	【知識】 ○楽譜における音価・リズムの仕組みを理解している。 ○曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ○言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ○曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技能】 ○創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けている。 ○創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。	○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ○主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2学期	器楽(ハンドベル･アンサンブル) 鑑賞(「諸民族の音楽」②ヨーロッパ) ソルフェージュ･理論(音高･音階)	「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕(1) 「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	【知識】 ○楽譜における音高と音階の仕組みについて理解している。 ○曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ○様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 ○音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解している。 【技能】 ○創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付けている。 ○創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 ○創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。	○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ○主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3学期	器楽(キーボード) 鑑賞(「諸民族の音楽」③アメリカ大陸)	「A表現」(2)器楽及び〔共通事項〕(1) 「B鑑賞」(1)鑑賞及び〔共通事項〕(1)	【知識】 ○楽譜における音高と音階の仕組みについて理解している。 ○曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ○様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 ○音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解している。 【技能】 ○創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付けている。 ○創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 ○創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。	○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 ○音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ○主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【講座名】　美術Ⅰ

【講座内容･目標】美術表現を通じて柔軟な発想力と認識力を伸ばし、創意工夫のある表現や美術作品の鑑賞方法を学ぶ。作品の制作を通じて、美術を愛好する心情を深め、美術と社会の繋がりや日本及び世界の美術文化について学ぶ。絵画、デザイン、工芸など実技を中心とした授業を実施する。

【科目情報】　芸術（美術Ⅰ）　２単位
【教科書】　高校生の美術１　（日本文教出版）
【副教材】　授業内容を解説した視聴覚教材や作品の素材や道具等を使用する。
【その他】　教材費を徴収する。

	教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
		内容のまとまり	知識・技能	・	主体的に学習に取り組む態度
1学期	デッサン ･鉛筆デッサン(幾何形体)	「A表現」(1) 絵画・彫刻及び〔共通事項〕 (1)	･造形の要素の働きを理解している。〔共通事項〕 ･造形的な特徴などを基に，全体のイメージや作風，様式などで捉えることを理解している。〔共通事項〕 ･意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ･表現方法を創意工夫し，空間を正しく認識し、色や形、量感等を理解して画面の中に表している。	･二次元での形の法則を理解している。 ･二次元での量感の表し方を理解している。 ･二次元での空間を表現することを理解している。 ･表現形式の特性を生かし，形体や色彩，構成などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。	○主体的に絵画表現の創造活動に取り組もうとしている。
	デッサン ･鉛筆デッサン(静物)				
	デッサン ･パステル画(静物)				
	デザイン ･「おいしそうに描く」をテーマにチョークアートでボードを制作する	「A表現」(2) デザイン及び〔共通事項〕 (1)	･造形の要素の働きを理解している。〔共通事項〕 ･造形的な特徴などを基に，全体のイメージや作風，様式などで捉えることを理解している。〔共通事項〕 ･意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ･表現方法を創意工夫し，目的や計画を基に創造的に表している。	･目的や条件，美しさなどを考え，主題を生成している。 ･デザインの機能や効果，表現形式の特性などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。	○主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。
2学期	立体表現 ･ワイヤーで生きものを制作する	「A表現」(1) 絵画・彫刻及び〔共通事項〕 (1)	･造形の要素の働きを理解している。〔共通事項〕 ･造形的な特徴などを基に，全体のイメージや作風，様式などで捉えることを理解している。〔共通事項〕 ･意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ･表現方法を創意工夫し，主題を追求して創造的に表している。	･自然や動物の動きなど感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成している。 ･表現形式の特性を生かし，形体や動きを感じ取り、創造的な表現の構想を練っている。	○主体的に彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。
3学期	塑像 ･表情をテーマに塑像を制作する	「A表現」(1) 絵画・彫刻及び〔共通事項〕 (1)	･造形の要素の働きを理解している。〔共通事項〕 ･造形的な特徴などを基に，全体のイメージや作風，様式などで捉えることを理解している。〔共通事項〕 ･意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ･表現方法を創意工夫し，空間を正しく認識し、色や形、量感等を理解して画面の中に表している。	･三次元での形の法則を理解している。 ･三次元での量感の表し方を理解している。 ･プロポーションや筋肉の動きを形として把握している。 ･表現形式の特性を生かし，形体や色彩，構成などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。	○主体的に彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。
	美術館探索 ･Ipadを使い世界中の美術館を訪れ作品を鑑賞する				

【講座名】　書道Ⅰ

【講座内容･目標】楷書・行書・仮名の学習を行う。基礎的かつ実用的な書体を学ぶことで書写能力を高め、授業内容を日常に生かす。
また、書法について教えあうことを通し、活発な言語活動を図る。

【科目情報】　芸術（書道Ⅰ）　２単位
【教科書】　『書Ⅰ』『書Ⅰプライマリーブック』（教育図書）
【副教材】
【その他】

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	楷書の基礎 欧陽詢･虞世南	楷書の学習	楷書の基本用筆を的確に使うことができる。 初唐の三大家の特徴や太宗との関係を理解している。	右払い、はね、転折部での筆法を自身で考え、手本通りの形を再現する工夫をしている。 隣席同士の教えあいで積極的に自身の考えたことを発信している。	進んで練習の枚数を重ね、自分自身の成長に喜びを感じる。
	期末	褚遂良･顔真卿 北魏の書	楷書の学習	それぞれの古典の特徴を捉え、線の向きや太細を理解している。 各時代の時代背景を理解している。	特徴的な点画を練習を通して再現している。 隣席同士の教えあいで積極的に自身の考えたことを発信している。	進んで練習の枚数を重ね、自分自身の成長に喜びを感じる。
2学期	中間	行書の基礎 蘭亭序	行書の学習	行書の滑らかな線を書くことができる。 行書の５つの特徴を知り、それらがどのように文字に表れているか理解できる。 蘭亭序の書かれた時代背景を知る。	楷書を行書に直して書くことができる。	進んで練習の枚数を重ね、自分自身の成長に喜びを感じる。
	期末	蘭亭序の全臨 風信帖	行書の学習	蘭亭序を全臨する。 速く、正確に行書作品を書くことができる。 風信帖の書かれた時代背景を理解する。	時間内に５４枚ある課題を終わらせるためにどのような筆遣いを用いればよいか考える。 特徴的な字形の再現のための筆遣いを考える。	進んで練習の枚数を重ね、自分自身の成長に喜びを感じる。
3学期	期末	仮名の基礎 基本用筆･単体･連綿 高野切	仮名の学習	仮名の基本用筆を正確に書くことができる。 変体仮名を読むことができる。 連綿を正確に行うことができる。	自身で仮名の作品制作を行うことができる。	進んで練習の枚数を重ね、自分自身の成長に喜びを感じる。

【講座名】　英語コミュニケーションⅠ

【講座内容･目標】　日常的・社会的な話題について、
1. 必要な情報を聞き（読み）取り、話し（書き）手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。

【科目情報】　外国語（英語コミュニケーションⅠ）　４単位
【教科書】　Stellar　（開隆堂）
【副教材】　プリント、別途購入の教材等
【その他】

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	Lesson 1 The World's Beautiful Views	聞くこと	〈知識〉 情報や考えなどを聞き取るために必要となる語句や表現、音声等を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えなどを聞き取る技能を身に付けている。	（ア）自分の考えをまとめるために、日常的な話題について必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握している。 （イ）自分の考えをまとめるために、社会的な話題について必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉えている。	（ア）自分の考えをまとめるために、日常的な話題について必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握しようとしている。 （イ）自分の考えをまとめるために、社会的な話題について必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉えようとしている。
		Lesson 2 The History of Chocolate				
	期末	Lesson 3 Serendipity	読むこと	〈知識〉 情報や考えなどを読み取るために必要となる語句や表現、音声等を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えなどを読み取る技能を身に付けている。	（ア）自分の考えをまとめるために、日常的な話題について書かれた文等から必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握している。 （イ）自分の考えをまとめるために、社会的な話題について書かれた文等から必要な情報を読み取り、概要や要点を捉えている。	（ア）自分の考えをまとめるために、日常的な話題について書かれた文等から必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握しようとしている。 （イ）自分の考えをまとめるために、社会的な話題について書かれた文等から必要な情報を読み取り、概要や要点を捉えようとしている。
		Lesson 4 The Secret World of Plants				
2学期	中間	Lesson 5 Fashion for Peace	話すこと 〔やり取り〕	〈知識〉 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うために必要となる語句や表現、音声等を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。	（ア）お互いの考えを深めるために、日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けている。 （イ）お互いの考えを深めるために、社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝え合っている。	（ア）お互いの考えを深めるために、日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。 （イ）お互いの考えを深めるために、社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝え合おうとしている。
		Lesson 6 Animated Evolution				
	期末	Lesson 7 The Charm of Vermeer's Paintings	話すこと 〔発表〕	〈知識〉 情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えるために必要となる語句や表現、音声等を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	（ア）発表の目的や対象者に応じて、日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えている。 （イ）発表の目的や対象者に応じて、社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。	（ア）発表の目的や対象者に応じて、日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝えようとしている。 （イ）発表の目的や対象者に応じて、社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。
		Lesson 8 The Mystery of Curling				
3学期	期末	Lesson 9 Coco Chanel	書くこと	〈知識〉 情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えるために必要となる語句や表現、音声等を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。	（ア）様々なテキストジャンルに応じて、日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えている。 （イ）様々なテキストジャンルに応じて、社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに書いて伝えている。	（ア）様々なテキストジャンルに応じて、日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを理由とともに書いて伝えようとしている。 （イ）様々なテキストジャンルに応じて、社会的な話題についての情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに書いて伝えようとしている。
		Lesson 10 Purifying Powder				

【講座名】　論理・表現Ⅰ

【講座内容･目標】　興味や関心のある日常的な話題や社会的な話題について、
１．情報や相手の考えなどを的確に理解し、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。
２．コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて文法の規則を理解するだけでなく、それらをコミュニケーションの側面から捉えることができる。

【科目情報】　外国語（論理・表現Ⅰ）　２単位
【教科書】　be English Logic and Expression Ⅰ（大修館）
【副教材】　プリント、別途購入の教材等
【その他】

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	1 Meeting People 2 Holidays and Weekends	話すこと 〔やり取り〕	〈知識〉 賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うために必要となる語句や表現を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題について、ディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えている。	（ア）日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりしている。 （イ）日常的な話題や社会的な話題について、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合っている。	（ア）日常的な話題についての情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりしようとしている。 （イ）日常的な話題や社会的な話題について、ディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合おうとしている。
		3 Making Plans 4 Experiences				
	期末	5 Study and Activities 6 Food				
		7 School Life 8 Daily Life				
2学期	中間	9 Transportation and Buildings 10 The Future	話すこと 〔発表〕	〈知識〉 賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して話して伝えるために必要となる語句や表現を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝える技能を身に付けている。	（ア）日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えている。 （イ）日常的な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えている。	（ア）日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えようとしている。 （イ）日常的な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えようとしている。
		11 Staying Healty 12 Convenient Products				
	期末	13 Hobbies and Interests 14 The World of Nature				
		15 Trouble and Accidents 16 Inventions and Breakthroughs				
3学期	期末	17 Community Service 18 Events and Customs 19 Living Environment	書くこと	〈知識〉 賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えるために必要となる語句や表現を理解している。 〈技能〉 日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して書いて伝える技能を身に付けている。	（ア）日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して書いて伝えている。 （イ）日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。	（ア）日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して書いて伝えようとしている。 （イ）日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。
		20 Social Problems 21 Making a Wish 22 Cross-cultural Communication 23 Languages and Communication				

【講座名】　家庭基礎

【講座内容･目標】生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

【科目情報】　家庭（家庭基礎）　２単位
【教科書】　家庭基礎　気づく力　築く未来（実教出版）
【副教材】　生活Navi　資料＋成分表　２０２６、プリント
【その他】

	教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
		内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	第１章 これからの人生について考えよう	人の一生と家族・家庭及び福祉	自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し，生活設計を工夫して立てている。	人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解しようとしている。 生涯を見通した自己の生活について主体的に考えている。
	第２章 自分らしい生き方と家族		家族・家庭の機能と家族関係，家族・家庭 生活を取り巻く社会環境の変化や課題，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。	家庭や地域のよりよい生活を創造するために，自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することや，男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察している。	生涯発達の視点で青年期の課題を理解しようとしている。 自身と家族・家庭や地域とのかかわりや課題について主体的に考えている。
	第8章　住生活をつくる	住生活と住環境	ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	住居の機能や快適性、住居と地域社会について考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫することができる。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣食住の生活の自立と設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
	第９章 消費行動を考える 第１０章 経済的に自立する	持続可能な消費生活・環境	家計の構造や生活における経済と社会との関わり，家計管理について理解している。 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解するとともに，生活情報を適切に収集・整理している。生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに，持続可能な社会へ参画する ことの意義について理解している。	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について，ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察している。自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し，工夫している。持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について考察し，ライフスタイルを工夫している。	家計の管理を適切に行い、自身の消費行動が社会や環境に与える影響を考え、権利と責任を自覚して行動しようとしている。 成人年齢の引き上げに伴い、自身の消費に関する問題について主体的に考えている。
	グループ活動	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解すること。 単元を横断し、考察をするための知識・技能を習得している。	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践している。	生活上の課題を設定し，解決に向けて生活を科学的に探究したり，創造したりしようとしている。
2学期	第７章 衣生活をつくる	衣食住の生活の自立と設計	ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理をしている。 被服材料，被服構成及び被服衛生について理解し，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫している。	自身の衣生活について、主体的に考え、課題を解決しようとしている。
	第６章 食生活をつくる	衣食住の生活の自立と設計	ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解し，自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について理解し，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。	食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について考察し，自己や家族の食事を工夫している。	自身の食生活の向上に必要な知識や技術を活用し、ライフステージや健康状態に合わせて計画・管理しようとしている。
3学期	第２章 自分らしい生き方と家族	人の一生と家族・家庭及び福祉	家族・家庭の機能と家族関係，家族・家庭 生活を取り巻く社会環境の変化や課題，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。	家庭や地域のよりよい生活を創造するために，自己の意思決定に基づき，責任をもって行動することや，男女が協力して，家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察している。	自身と家族・家庭や地域とのかかわりや課題について主体的に考えている。
	第３章 子どもとかかわる		乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子供を取り巻く社会環境，子育て支援について 理解するとともに，乳幼児と適切に関わるための基礎的な知識・技能を身に付けている。	子供を生み育てることの意義について考えるとともに，子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察している。	乳幼児の発達や自分が親になることを考え、具体的な展望を持っている。
	第４章 高齢者とかかわる		高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに，生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察している。	自身の高齢期について主体的に考えている。 高齢者を支える立場から、高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について考えようとしている。
	第５章 社会とかかわる		生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。	家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察している。	生活を支える福祉について理解し、自身の生活におけるリスクについて、主体的に考えている。

【講座名】　情報Ⅰ

【講座内容・目標】　情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1 ）効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
（2 ）様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
（3 ）情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【科目情報】　情報（情報Ⅰ）　２単位
【教科書】　高等学校　情報Ⅰ（数研出版）
【副教材】　新課程 高等学校 情報Ⅰ サポートノート
【その他】　授業はPC室で行います。

		教材（小単元）	内容のまとまりごとの評価規準			
			内容のまとまり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	中間	(ア)情報とメディア	(1)情報社会の問題解決	・情報やメディアの特性を踏まえ，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けている。	・目的や状況に応じて，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えている。	・情報社会における問題の発見・解決に，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また，自己調整しながら，解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。 ・情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。
		(イ)情報社会における法とセキュリティ (ウ)情報技術が社会に及ぼす影響		・情報に関する法規や制度，情報セキュリティの重要性，情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。　・情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。	・情報に関する法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて，それらの背景を科学的に捉え，考察している。 ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。	
	期末	(ア)情報のデジタル表現	(2)コミュニケーションと情報デザイン	・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について，その変遷も踏まえて科学的に理解している。	・メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え，それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。	・コミュニケーションと情報デザインが情報社会に果たす役割について考えながら情報と情報技術を活用し，試行錯誤して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。 ・よりよいコミュニケーションを行うために自らの取組を振り返り評価し改善することを通して情報社会に主体的に参画しようとしている。
		(イ)コミュニケーション手段の発展と特徴 (ウ)情報デザイン (エ)プレゼンテーション		・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解するとともに，表現する技能を身に付けている。	・コミュニケーションの目的を明確にして，適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し，評価し改善することができる。	
2学期	中間	(ア)コンピュータのしくみ	(3)コンピュータとプログラミング	・コンピュータや外部装置の仕組みや特徴，コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している。	・コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察している。	・問題解決にコンピュータを積極的に活用し，自ら結果を振り返って改善しようとしている。 ・生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとすることなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとしている。
		(イ)プログラミング		・アルゴリズムを表現する手段，プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けている。	・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し，プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに，その過程を評価し改善することができる。	
	期末	(イ)プログラミング				
		(ウ)モデル化とシミュレーション		・社会や自然などにおける事象をモデル化する方法，シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している。	・目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに，その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えている。	
3学期	期末	(ア)ネットワークのしくみ (イ)データベース	(4)情報通信ネットワークとデータの活用	・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素，プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 ・データを蓄積，管理，提供する方法，情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解している。	・目的や状況に応じて，情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに，情報セキュリティを確保する方法について考えている。　・情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えている。	・情報システムにより提供されるサービスや情報通信ネットワークを目的に応じて適切かつ効果的に活用しようしている。 ・データを粘り強く多面的に精査し，データに含まれる傾向を自己調整しながら見いだそうとしている。 ・情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。
		(ウ)データの分析		・データを表現，蓄積するための表し方と，データを収集，整理，分析する方法について理解し技能を身に付けている。	・データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法を適切に選択し，実行し，評価し改善することができる。	